

先週の礼拝メッセージ(2022年1月16日) ベン牧師

「霊の一致」 エフェソの信徒への手紙 4:1-3



私たちクリスチャンに与えられた素晴らしい約束を、パウロは1章から3章にかけて語ってきました。そして、4章以降は、その素晴らしい恵みを受けた私たちがどのように歩いていくかが記されています。そして、それを一言で言うと、「神様の招きに相応しく歩む」ということなのです(1節)。そして、どのようにして神の招きにふさわしく歩むかが、これからの4章から6章に記されているのです。

その第一声は、「霊の一致を保ちなさい」ということです。この霊とは神の霊(聖霊)のことです。聖霊による一致を保つようにというのです。

聖書で「教会」と言っているのは建物を指すのではなく、クリスチャンの集まっている場所を指しています。クリスチャンと言っても、パーフェクトでない人間の集まりです。だからこそ一致を保つために忍耐が必要であり、柔和と寛容を持ってお互いを受け入れ合うことが必要なのです。多くの人はなかなか自分の非を認められず、相手を批判してしまいます。しかし、まず私たちが相手を受け入れることから始める時、そこに平和のきずなが生まれてきます。

教会は、欠けのあるクリスチャンの集まりですから、意見が分かれることもあるでしょう。しかし、意見が違うことと、争うことは全く違います。年齢や性別、性格の違いは当然あるのですから、意見が違ってもいいのです。

パウロは、欠けも違いもある私たちが、神の招きにふさわしく歩むために最も大切なことは、霊によって一致することだと言っています。

イエス様は十字架を目前にしてこのように祈られました。

「聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。」(ヨハネ 17:11)

サタンは教会から一致を奪おうとします。批判する人は大抵、自分は正しいことを言っていると思っています。正しいと思うからこそ声を上げるのです。しかし自分の意見だけでなく、それに「あなたはどう思いますか?」という一句を加えるべきです。

クリスチャンには聖霊が与えられています。では、私のうちにおられる聖霊と、他のクリスチャンのうちにおられる聖霊は別のお方でしょうか。いいえ、決してそのようなことはあり得ません。同じ聖霊が、私のうちにもあなたのうちにもおられるのです。だったら、最初から一致しているはずです。教会がなぜ一致できないのか、一言でいうなら、一人一人が聖霊の声に耳を傾けていないからです。

自分はこう思う、自分はこっちの方が良いと、熱心のゆえに自分の理想を主張するのです。

そうではなく、一人一人が主の前に出て聖霊の声を聞いていたなら、たとえ意見は違っても、一つの聖霊の前に、文字通り霊による一致が与えられ、平和のきずなで結ばれるのです。

しかも聖書は、霊の一致を作り出せとは言わず、保ちなさいと言っています。無いものは保てません。本来、同じ御霊を内に宿すクリスチャンは、最初から一致しているはずです。一人一人がそのお方に聞いていけば100%一致できるのです。そのために高ぶることなく、柔和で寛容の心を持ち、愛をもって忍耐するのだと言っています。

教会は、メンバーのさまざまな意見に耳を傾けつつ、聖霊に聞きながら神から与えられたビジョンに立って、教会運営をするべきです。

神からのビジョンに関してはブレることなく、それでいてお互いの意見を尊重し、その思いを汲んでいくということを実現するためには、お互いが愛し合い、一致する以外に方法はありません。

だからこそ、私たちがどれだけ素晴らしい恵みを主から受けているかを確認し、聖霊の声に聞き、違うお互いを聖霊によって受け入れ、霊によって一致する者となりましょう。その姿こそが大きな証となるのです。そしてそこに神の祝福がさらに注がれていくのです。

